

【学校教育目標】

- ①進んで学習する生徒（知）
- ②人の気持ちがわかる生徒（徳）
- ③自ら体を鍛える生徒（体）

① 進んで学習する生徒（知）

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

② 人の気持ちがわかる生徒（徳）

- 多様な他者と協働する力の育成
- 自他の生命の尊重
- 公共の精神の育成

③ 自らの体を鍛える生徒（体）

- 体力の向上
- 困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力の育成
- 規範意識の向上
- 防災・安全意識の向上

【目指す学校像】

生徒一人一人のよさや可能性を伸ばす学校

- ① 個別最適な学び→多様な生徒たちを誰一人取り残すことなく、資質・能力を育成する。
生徒の実態・学習状況をきめ細かく把握すると同時に、主体的に学習を調整できるように促す。
 - 指導の個別化
 - ・支援が必要な生徒への重点的な指導
 - ・個に応じた指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定
 - ・多様な学びの機会の設定
 - 学習の個別化
 - ・生徒一人一人の興味・関心に応じた異なる目標に向けて学習を深め広げる活動
 - ・生徒自身で学習が最適となるよう調整する活動
- ② 協働的な学び→子供たちの多様な個性を最大限に生かす。
孤立した学びにならないようにし、他者を価値ある存在として尊重できるようにする。
 - ・生徒一人一人のよさや可能性を活かす活動
 - ・多様な他者と協働する学習活動
 - ・異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出す活動

③ ICT の活用

- ・一人1台タブレット端末活用による効果的な学びの推進
- ・教員と生徒での双方向のコミュニケーションツールの活用
- ・生徒同士での協働作業ツールの活用 など

【目指す生徒像】

自ら考え、他者と協働して粘り強く取り組む生徒

○自ら主体的に考える

→先行き不透明な社会において自ら考え判断し、たくましく生き抜く力を育成する。

○他者との協働

→対面、協働による積極的なコミュニケーションを通じて人間関係を築き、協力してものごとを解決できる力を育成する。

【目指す教師像】

○生徒一人一人の資質・能力を最大限に引き出す教師

○探究心を持ち、生涯学び続ける教師

○チームの一員として組織的・協働的に取り組む教師

○生徒一人一人の資質・能力を最大限に引き出す教師

→「指導の個別化」の実現

生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、ICT を有効に活用し、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行う。

→「学習の個性化」の実現

探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が生徒一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、生徒自身の学習が最適となるよう調整する。

○探究心を持ち、生涯学び続ける教師

→「校内研修の充実」

授業研究を通して、タブレット端末の有効的な活用方法の工夫改善に取り組み、教職員の指導力や資質を向上させる。

○チームの一員として組織的・協働的に取り組む教師

→「チーム五中」としての意識を向上させる。

校務分掌等を通じて、自分の役割に責任を持たせ、組織的・協働的に活動できる職場とする。

【本年度学校重点目標】

生徒一人一人に応じた個別最適な学びと協働的な学びの実現

～生徒一人一台タブレット端末の効果的な活用方法の工夫・改善を通して～

2. 教育上の諸課題について

(1) 教育課程の編成・実施状況と諸課題

①年間授業時数確保のための工夫

- ・定期テストの見直し（1学期中間テストの廃止等）→評価方法の工夫・改善
- ・学校行事の見直し（離任式、三送会の廃止 各行事の縮小・簡素化 等）→校務分掌

②各教科、領域の年間指導計画の作成と改善

- ・各教科、領域の年間指導計画のペーパーレス化（データ化）→複数の目で確認が必要
- ・AIドリルの活用

③特別の教科 道徳科の授業の実施状況

- ・研究指定校として取組（「考え、伝え合う」道徳授業の実践）→継続指導
- ・全教職員で行う道徳教育（学年ローテーション授業 等）→指導方法の工夫・改善

④外国語科の実施状況と課題

- ・教科支援員との IT→個に応じた指導
- ・ALT 1人配置→会話重視
- ・デジタル教科書の活用→活用方法の工夫・改善

⑤総合的な学習の時間の取組

- ・各学年でテーマを設定→生徒一人1台タブレット端末の活用（調べ学習、発表等）
- ・地域との交流（職場体験学習、校外学習、宿泊行事、ふれあい祭り参加 等）

(2) 指導方法の工夫・改善の取組と課題

①学習指導要領に基づいた指導と評価の実施

- ・各教科の評価方法についての生徒・保護者への周知・説明（ホームページ）
- ・ICTの有効活用

②学力向上プランの取組

- ・埼玉県学力・学習状況調査結果の分析・改善→2年生の国語が課題
- ・基礎学力の定着→朝学習、チャレンジ学習の工夫

③体力向上に係る取組

- ・新体力テストの結果の分析・改善→基礎体力の低下
- ・体育の授業、部活動、昼休みの運動推進→学校全体での取組

④各種学力等結果の分析と課題解決に向けた取組

- ・学力の2極化→個に応じた支援
- ・規律ある態度の調査結果の分析・改善→「あいさつ」が課題
- ・チャレンジ学習（水曜日の放課後）→課題の見直し（すららドリル）あり、④（30分程度）
- ・ステップアップ教室（年間30回程度）→参加者や内容の見直し（基礎学力の向上）

⑤定数加配等による指導法方法の工夫・改善

- ・数学の教科指導充実加配との IT→個に応じた支援（習熟度別指導）
- ・英語と数学の教科支援員との IT→個に応じた支援（ティームティーチング授業）

⑥前年度の学校訪問で明らかになった課題とその後の取組内容

- ・生徒一人タブレット端末の効果的な活用→研修で操作方法の共有
- ・不登校生徒の学びの継続→相談室登校、オンライン授業 等

⑦キャリア教育・進路指導

- ・情報活用能力の育成→生徒一人1台タブレット端末の有効活用
- ・将来を見通し生徒一人一人にあった進路選択→進路先の情報提供資料の充実
- ・不登校生徒への支援→外部機関との連携

(3) 校内研修の実施状況と課題

①校内研修や委嘱研究の研究主題、研究計画、内容、方法等と今後の課題

- ・週1回の研修推進委員会を実施
- ・月1回の全体で校内研修を実施
- ・指導者による講演会の設定
- ・校内授業研究会 など

②課題

- ・予算の確保
- ・授業におけるタブレット端末の効果的な活用
- ・教員の働き方改革 など

3 生徒指導

(1) 不登校生徒及び非行、問題行動、いじめの状況等

①不登校傾向の生徒

1年3名 2年8名 3年9名 合計20名

②問題行動、いじめの状況

いじめ、SNSによるトラブル など

(2) 生徒指導体制について

- ・生徒指導部会、教育相談部会の開催（週1回）
- ・さわやか相談室、子ども相談室、通級指導教室、子ども未来課、児童相談所、医療機関、警察、SSW、スクールカウンセラーなどとの連携
- ・学校運営協議会との連携 等

4 特別支援教育の状況

- ・特別支援学級 2クラス設置 （知的1学級・自閉情緒1学級）
- ・生徒5人（知的4名・情緒1名）

5 学校経営上の諸課題等

- ・タブレット端末の運営・管理
- ・部活動の地域移行 等

6 その他、各学校の特色ある活動や生徒の安心・安全の確保等について

- ・性教育、がん教育、薬物乱用防止教育の取組
- ・チャレンジ学習（水曜日の放課後）、ステップアップ教室（年間30日）
- ・垂直避難、不審者対応訓練の実施 等

令和6年度 学年編成・各主任・職員組織 生徒数334名

1. 教務

主幹 兼 教務主任：石井 祐輔

2. 学年主任

1学年主任：古谷野 智恵 2学年主任：宗像 正輝 3学年主任：門倉 智弘 特別支援学級主任：藤田 志穂

3. 学年構成

	1学年通常学級 (101名 3学級)		2学年通常学級 (110名 3学級)		3学年通常学級 (118名 3学級)		特別支援学級 (知的・情緒) (5名 2学級)		教務	
国語	安部 (副担任)				増田 (担任)					
社会	林 (担任)				門倉 (主任)					
数学			岩崎 (担任)		岡井 (担任)				石井 (主任)	
(教科支援員・数学)	波多野 (副担任)				野口 (副担任)					
理科	加納 (担任)		鈴木 (担任)							
音楽	佐藤 (担任)									
美術			小原 (副担任)				藤田 (副担任)			
保健体育			宗像 (主任)		國府 (担任)		藤田 (担任)			
技術家庭			松原 (副担任)		高本 (副担任)					
英語	古谷野 (主任)		真壁 (担任)				宮崎 (担任)			
(教科支援員・英語)			上田 (副担任)		岸野 (副担任)					
補助員							坂本 (補助員)			
男女比	3	3	1	3	1	3	1	3	1	0
合計人数	6人		7人		7人		4人		1人	

4. その他主任・担当等

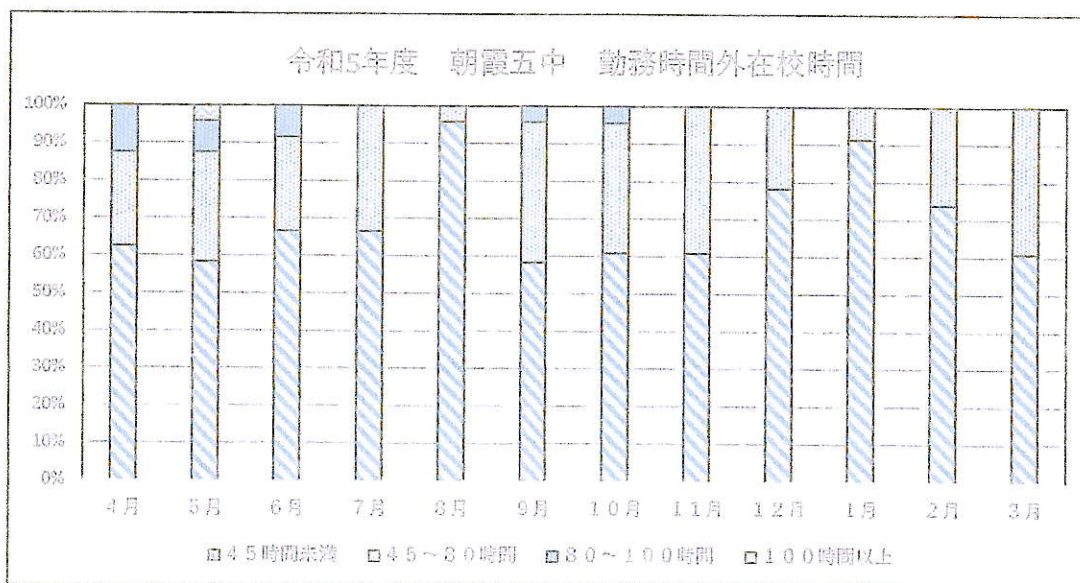
- ・生徒指導主任 佐藤 雅之
- ・進路指導主事 岡井 健太郎
- ・保健主事 (衛生推進者) 國府 加那衣 (金山 節)
- ・教育相談主任 真壁 直子
- ・特別支援教育コーディネーター 藤田 志穂
- ・研修 (研究) 主任 岩崎 拓哉
- ・特別活動主任 鈴木 雅也
- ・道徳教育主任 (道徳教育推進教師) 加納 充浩

- ・総合的な学習の時間主任 増田 駿一
- ・情報教育主任 佐藤 雅之
- ・環境教育主任 徳浦 憲一
- ・安全教育主任 鈴木 雅也
- ・人権教育主任 門倉 智弘
- ・国際理解教育主任 古谷野 智恵
- ・図書館教育主任 安部 優子
- ・学力向上推進担当 石井 祐輔
- ・博物館利用担当 門倉 智弘

- ・給食主任 高本 智花
- ・掲示担当 小原 美咲
- ・部活動担当 加納 充浩 伴野 耕介
- ・福祉教育担当 宮崎 真紀 波多野 彩香
- ・清掃担当 林 雅也 野口 遥
- ・ハラスメント担当 石井 祐輔 古谷野 智恵
- ・生徒会担当 加納 充浩 真壁 直子 岡井 健太郎
- ・就学支援担当 藤田 志穂
- ・体方向上推進担当 宗像 正輝

令和5年度 朝霞市立朝霞第五中学校 時間外在校時間集計

人数	45時間未満	45～80時間	80～100時間	100時間以上	合計	平均時間	4.5h超
4月	15	6	3	0	24	46:53	37.5%
5月	14	7	2	1	24	43:49	41.7%
6月	16	6	2	0	24	39:57	33.3%
7月	16	8	0	0	24	32:17	33.3%
8月	23	1	0	0	24	15:07	4.2%
9月	14	9	1	0	24	37:13	41.7%
10月	14	8	1	0	23	37:30	39.1%
11月	14	9	0	0	23	41:11	39.1%
12月	18	5	0	0	23	26:10	21.7%
1月	21	2	0	0	23	25:23	8.7%
2月	17	6	0	0	23	30:48	26.1%
3月	14	9	0	0	23	40:20	39.1%





朝五中だより

令和6年4月8日発行
朝霞市立朝霞第五中学校

〒351-0031 朝霞市宮戸 1580 HP <http://www.asakadai5chu.city-asaka.ed.jp>
TEL 048(471)2236 FAX 048(476)1328 E-mail 5chuu@asaka-c.ed.jp

令和6年度のスタートにあたって

校長 鈴木 香織

春の日差しが暖かい季節を迎え、保護者の皆様、お子様のご入学、そしてご進級誠に
おめでとうございます。4月8日、校庭の桜や草花が咲き誇る中、令和6年度入学式・
始業式を無事に挙行できましたこと、心より感謝申し上げます。今年度より、入学式と
始業式を一緒に実施させていただきましたが、たくさんの保護者の皆様にご参加いただ
き誠にありがとうございました。

新たに新生生104名を迎え、全校生徒334名、学級数11学級で令和6年度の朝
霞市立朝霞第五中学校の教育活動がスタートしました。

全校生徒334名の大切なお子様をお預かりし、お子様の健やかな成長のために、精
一杯努力して取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

本校の学校教育目標は「生きる力」を育むため、「**進んで学習する生徒（知）**」、
「**人の気持ちがわかる生徒（徳）**」、「**自ら体を鍛える生徒（体）**」とし、知・徳・体
のバランスのとれた資質・能力を育成してまいります。

現代は将来の予測が困難な時代であり、その特徴である**変動性 (Volatility)**、**不確
実性 (Uncertainty)**、**複雑性 (Complexity)**、**曖昧性 (Ambiguity)** の頭文字をとって
「**VUCA**」の時代とも言われています。社会全体が、答えのない問いにどう立ち向かうの
かが問われており、目の前の事象から解決すべき課題を見だし、主体的に考え、多様
な価値観の人々が協働的に議論し、納得解を生み出すことなどが求められています。

学校においても、基盤的なツールとなるICTを最大限活用しながら、多様な生徒た
ちを誰一人取り残すことなく、生徒一人一人のよさや可能性を伸ばす「**個別最適な学
び**」と「**協働的な学び**」の充実が図られることが喫緊の課題となっています。

そこで、今年度の**目指す学校像は、「生徒一人一人のよさや可能性を伸ばす学校」、
目指す生徒像は、「自ら考え、他者と協働して粘り強く取り組む生徒」とし、生徒一人
一人のよさや可能性を最大限に引き伸ばせるよう教職員一同全力で取り組んでまいりま
すので、どうぞよろしく願いいたします。**

【学校教育目標】

- ・ **進んで学習する生徒**
- ・ **人の気持ちがわかる生徒**
- ・ **自ら体を鍛える生徒**

【目指す学校像】

生徒一人一人のよさや可能性を伸ばす学校

【目指す生徒像】

自ら考え、他者と協働して粘り強く取り組む生徒



※次号より、学校だよりは tetoru での配信となりますのでご承知おきください。また、授業参観のお知らせ等、学校からのおたよりは全て tetoru での配信となります。

4月の行事予定(卯月) April

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	月	春季休業日	16	火	1年仮入部開始
2	火		17	水	耳鼻科検診 チャレンジ学習
3	水		18	木	3年①②全国学力・学習状況調査(①国語②数学)
4	木		19	金	
5	金	準備登校	20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	自転車点検
8	月	始業式・入学式	23	火	尿検査1日目
9	火	①写真②生徒会オリエンテーション ③3年聴力検査④1年聴力検査	24	水	尿検査2日目 ふれあいデー 各種委員会(体育祭係別会議)⑥避難訓練
10	水	①教科書配布①3年身体測定②1年身体測定 ③2年身体測定	25	木	
11	木	給食開始 各種委員会(第1回)	26	金	1年本入部
12	金	保護者会(学級懇談有り)保護者代表連絡会	27	土	
13	土		28	日	
14	日		29	月	昭和の日
15	月	前期時間割開始 ⑤3年全国学力・学習状況調査(質問紙調査)	30	火	第1回学校運営協議会 眼科検診

<5月の主な行事>2日(木)授業参観・部活動保護者会 7日(火)埼玉県学力学習状況調査(1年) 8日(水)埼玉県学力学習状況調査(3年)
10日(金)埼玉県学力学習状況調査(2年) 18日(土)体育祭(予備日20日) 24日(金)振替休業日

<令和6年度学級編成> ☆よろしくお願いたします☆

	1学年職員	2学年職員	3学年職員	特別支援学級職員	
学年主任	古谷野 智恵	宗像 正輝	門倉 智弘	主任	藤田 志穂
1組担任	加納 充浩	鈴木 雅也	増田 駿一	6組担任	藤田 志穂
2組担任	林 雅也	真壁 直子	國府 加那衣	7組担任	宮崎 真紀
3組担任	佐藤 雅之	岩崎 拓哉	筒井 健太郎	副担任	篠浦 憲一
副担任	安部 優子 波多野 彩香	上田 美月 萩原 雅也 小原 美咲	野口 遥 伴野 耕介 高木 智花	補助員	坂本 知里
校長：鈴木 香織 教頭：相澤 昌彦 主幹教諭：石井 祐輔 養護教諭：金山 郁 事務主事：佐藤 友梨 スクールサポーター：大倉 幾子〔保健体育〕 事務補助員：新澤 由美子 学校図書館支援員：関 真由美 給食配膳員：中枝 康子 嶋立 美輝 学校業務アシスタント：本間 洋子 スクールカウンセラー：豊田 英子 さわやか相談員：北川 由梨 サポート相談員：小沼 良子 下島 玲子 校務員：植園 一實、河合 敏男 ALT：ハマサキ・アーロン(前期) ダスティン・ブラウワー(後期) ICT支援員：佐野 隆 日本語支援員：松尾 ゆかり 育児休業：五十嵐 恵 山崎 早智子 萩原 竜					

<転出・退職された先生> ☆ありがとうございました☆

小松 健〔数学〕朝霞第二中学校へ 蓮見 幸子〔保健体育〕朝霞第四中学校へ 山田 浩司〔英語〕新座市立第四中学校へ
 北地 英明〔社会〕朝霞第二中学校へ 重田 廉〔国語〕富士見市立東中学校へ 園分 康太〔特支・理科〕朝霞第二中学校へ
 飯田 成子〔美術〕東京都港区立小中一貫教育校赤坂学園へ 小栗 香奈子〔スクールカウンセラー〕県立川越初雁高等学校へ
 三條 嘉純〔英語〕県立入間向陽高等学校へ 土居 重一〔さわやか相談員〕退職
 金子 康雄〔スクールサポーター〕朝霞第一中学校へ 細川 温子〔学校業務アシスタント〕朝霞第三小学校へ
 佐々木ひとみ〔特別支援学級補助員〕退職 クリス・ジェンキンソン〔ALT〕朝霞第一中学校へ

【ご存知ですか 就学援助制度】

経済的理由でお子さまの教育機会が失われないよう、学用品費の一部や給食費等を援助する制度です(所得要件等あり)。令和6年度の申請は4月から受け付けます。お子さまを通じて案内チラシを配付しております。申請書類の入手方法等、詳しくは、市役所教育管理課までお問い合わせください。【教育管理課】048-463-0793

【電話対応時間変更のお知らせ】今年度の電話対応時間は午前8時20分から午後6時00分までとさせていただきます。なお、職員の勤務時間は午後4時50分までとなっておりますので、場合によっては対応できないこともありますのでご承知おきください。時間外で緊急の場合は、朝霞市教育委員会までご連絡ください。(463-1111 代表)



生徒一人一人のよさや可能性を伸ばす学校

【本年度学校重点目標】

生徒一人一人に応じた個別最適な学びと協働的な学びの実現
～生徒一人一台タブレット端末の効果的な活用方法の工夫・改善を通して～

【目指す教師像】

- 生徒一人一人の資質・能力を最大限に引き出す教師
- 探究心を持ち、生涯学び続ける教師
- チームの一員として組織的・協働的に取り組む教師

自ら考え、他者と協働して粘り強く取り組む生徒

一人一人の生徒を全教職員で支援

学習面、生活面ともに、きめ細かく支援する

- ・チャレンジ学習で基礎的な学力定着（水曜日の放課後25分間）
- ・ステップアップ教室で自学自習をサポート（隔週土曜日、長期休業中 年間40回）
- ・生活ノートの取組
- ・家庭訪問・三者面談、教育相談の充実
- ・生徒指導委員会、教育相談部会の定例会議
- ・さわやか相談室の活動（さわやか相談員、サポート相談員、スクールカウンセラー）



学校教育目標

進んで学習する生徒
人の気持ちがわかる生徒
自ら体を鍛える生徒



よくわかる授業と確かな学力の育成

基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、課題を解決するための思考力、判断力、表現力の育成、主体的に学習に取り組む態度を養う「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現という視点を持って、生徒の変容を踏まえつつ、指導方法を不断に見直す

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・生徒一人一台タブレット端末を有効に活用した授業の工夫改善
- ・根気強く、丁寧な指導、あきらめない指導の徹底
- ・「指導の個別化」と「学習の個性化」の実現

あたたかい雰囲気づくりと地域・小学校との連携

家庭・地域・校区小学校との連携、交流の一層の推進を図る

- ・地域との交流推進（学校公開週間・ふれあい祭り・職場体験学習）
- ・体育祭、合唱コンクールなどの学校行事の地域への発信
- ・学校運営協議会の設置

あいさつがよくできる生徒の育成

明るいあいさつ、しっかりとした返事を生徒、教職員ともに心がける

- ・あいさつや声かけなど日常的な関わりによる生徒理解
- ・担任・副担任とともにある学級指導
- ・好ましい人間関係づくりを目指す取組

健康な心身の育成

心身ともに健康で、健全な生活を送ろうとする態度を育てる

- ・体力向上への継続的・効果的な取組の推進
- ・性教育の推進
- ・朝の自主学習の取組

部活動の充実

生徒、教職員ともに努力し、充実を目指す

- ・生徒自身が目標を持って取り組む部活動の推進
- ・部活動における学年を超えた好ましい人間関係づくり

きれいな学校・安全な学校

きれいな学校、清掃の行き届いた学校を伝統として受け継ぐ安全な生活を送ろうとする態度を育てる

- ・校舎内外の清掃活動、美化活動の徹底
- ・施設設備の徹底した安全点検
- ・防災意識を高める安全教育の推進
- ・通学や行事、部活動時の自転車による交通事故防止の徹底

生徒会活動の充実

生徒の自主的、実践的な活動の充実を目指す

- ・生徒会活動や委員会活動の充実
- ・生徒が主体的に運営する生徒朝礼・学年朝礼
- ・自己決定力、集団決定力を育む学級活動の取組
- ・ボランティア活動など社会貢献できる生徒の育成

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

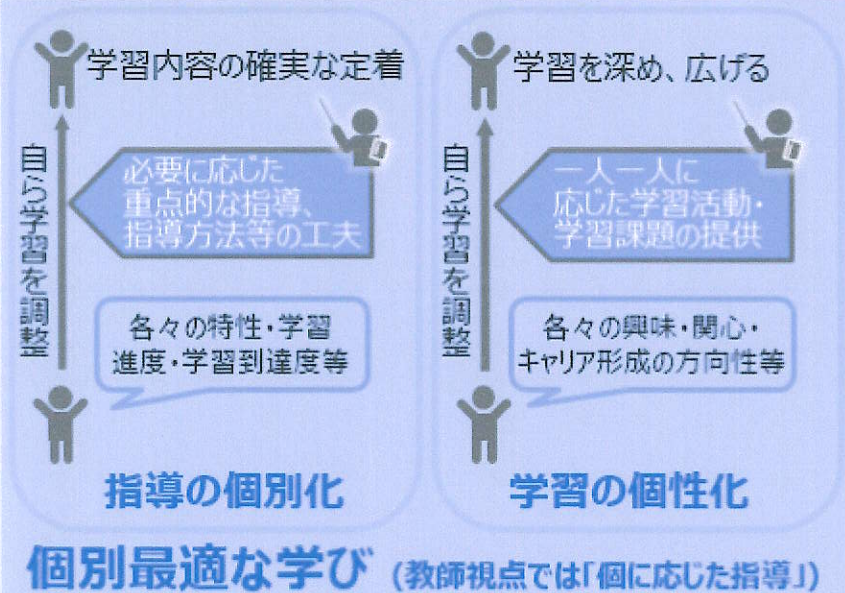
学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

授業改善

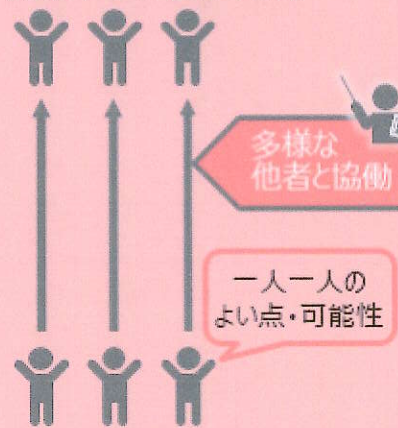
一体的に
充実

授業外の
学習の改善

資質・能力の育成



異なる考え方が組み合わせりよりよい学びを生み出す



協働的な学び



これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

修得主義 個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視
の考え方を生かす

・集団に対して共通に教育を行う 一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含

履修主義
の考え方を生かす

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文